

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)

教育基礎科目群

教育基礎科目

S103103	藤井佐知子	教育行政学	教育行政の基本原則と制度を概説し、それらが教育政策にどのように反映されているか、またどのような問題・課題を抱えているかについて具体的なデータと事例を元に講義する。	教員免許取得に必要な選択必修科目であり、「教育の基礎理論に関する科目」のうちの「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項」に関する科目に属している。「教職に関する科目」の中でも、特に教育を取り巻く社会的側面や制度的側面、教育経営に関する側面についての基礎知識を授ける。	・公教育の理念と制度に関する基礎的知識を修得する。 ・中央・地方の教育行政の具体的姿と課題について理解できる。 ・教育をめぐる権限関係、地方分権、学校の自律性、教育財政などをめぐる今日的課題について理解し、自分なりに考察することができるようになる。	0.4	0.3	0.1	0.1	0.1
S103200	藤井佐知子	教育制度	公教育制度の基本原則と役割、ならびに発達段階に応じた教育制度の歴史、構造、理念、現状、課題について講義する。	教員免許取得に必要な選択必修科目であり、「教育の基礎理論に関する科目」のうちの「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項」に関する科目に属している。「教職に関する科目」の中でも、特に教育を取り巻く社会的側面や制度的側面、教育経営に関する側面についての基礎知識を授ける。	・日本の教育制度の歴史、構造、理念、現状、課題についての基礎的な知識を修得する。 ・自分の経験と客観的な事実を重ね合わせて、さまざまな教育事象を捉え、考察することができるようになる。	0.4	0.3	0.1	0.1	0.1
S103308	廣瀬隆人	生涯学習社会論	現代的課題に係わる具体的事象を生涯学習・社会教育の視点から検討していくことによって、生涯学習社会の諸相を明らかにしていく。そのことを通じて、社会的結実から「学習」の要素を導きだしていく。この授業では、生涯学習社会を支える市民としての自己教育と相互教育によって自らを高めていくことができる力量の形成を目指す。	この科目は社会教育主事資格を取得する際に必要な科目である。生涯学習概論も履修することによって、社会教育主事資格取得に必要な科目となる。	生涯学習、社会教育の本質について理解を図るとともに、主として学校と地域の連携をベースとした学校との関係性の中で生涯学習社会をとらえ直していく。①社会教育・生涯学習の違いを明確に説明できる。②小集団学習、共同学習を体験的理解し、小集団で話し合うことができる。③社会的事象から、学習要素を抽出し何が社会教育なのかを具体的に説明できる。④映像教材から、学習の要素を抽出し、それらをまとめることができる。⑤学校と地域の連携の必要性を説明できる。	0.3	0.3	0.1	0.1	0.2
S103350	小原一馬	教育社会学	個人と社会の関係を教育現象に着目することで考える。	共通教職の選択科目の一つであり、教師になる上で、教育を社会と個人の関係から見ていく能力を育む。	教育を、個人の視点からだけではなく、社会というレベルで見られるようになる、つまり社会的な見方で見られるようになること。	0.1	0.3	0.1	0.1	0.4
S103405	上原秀一	道徳教育	小中学校における道徳教育に関する基礎的な知識を習得する。	「課程共通科目Ⅰ」の「C 共通教職」の必修科目である。小中学校の教員免許を取得するための必修科目である。	・小中学校学習指導要領における道徳教育の位置付けを理解する。 ・小中学校の道徳の時間における授業の在り方について理解する。	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ・・・, 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S103421	中村 清	道徳教育	価値観が多様化したといわれる今日の社会において、道徳教育はいかなる原則に基づいて、いかなる方法を用いて行われるべきかを探究する。	学校教員養成課程の共通科目であり、教職員免許取得のための必修科目である。	・教育によって教えることのできることを、また教えるべき道徳について、および学校教育における道徳教育の多様な方法について、理解を深めること。	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
S103413	上原秀一	道徳教育	小中学校における道徳教育に関する基礎的な知識を習得する。	「課程共通科目Ⅰ」の「C共通教職」の必修科目である。小中学校の教員免許を取得するための必修科目である。	・小中学校学習指導要領における道徳教育の位置付けを理解する。 ・小中学校の道徳の時間における授業の在り方について理解する。	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
S103429	渡邊 弘	道徳教育	本授業では、道徳教育の意味や目的などの論的吟味を踏まえた上で、現実の学校における道徳教育および道徳の授業の実践的課題について考えていく。もちろん道徳教育は学校だけでなく、家庭や地域社会など生活全般にわたって展開されるものであるが、本授業は、それらの関連性も視野に入れながら、特に学校における道徳教育を中心に考えていく。	学校教員養成課程の共通科目であり、教職員免許取得のための必修科目である。様々な状況の中で主体的な道徳判断力及び実践力を養い豊かな社会性を育成していくことと、実際の道徳の授業（教育実習も含む）に役立つ内容・方法の習得を目標とする。	・「道徳」および「教育」の意味と関心について理解する。 ・これまでの日本における道徳教育がどのように展開されてきたのかについて理解する。 ・諸外国における学校道徳教育の状況と課題について理解する。 ・道徳の時間における学習方法について、指導案の作成方法なども合わせて理解する。	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
S103502	青柳 宏	教育課程及び方法（特別活動を含む）	教育の目的とは何か、を改めて検討することから教育課程及び教育方法について考察する。具体的には平和主義、民主主義、平等主義の視点から教育課程及び教育方法について考察する。また、この考察をふまえて、「学力」概念についての再検討をおこなう。	小学校・中学校・高等学校の教員免許を取得するための教職必修科目であり科目、校種をこえて、教育課程の編成及び教育方法に関わる原理的な知見の獲得をめざす。	教育課程、教育方法、学力概念を、教育目的の視点から構想することができる。	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1
S103510	青柳 宏	教育課程及び方法（特別活動を含む）	教育の目的とは何か、を改めて検討することから教育課程及び教育方法について考察する。具体的には平和主義、民主主義、平等主義の視点から教育課程及び教育方法について考察する。また、この考察をふまえて、「学力」概念についての再検討をおこなう。	小学校・中学校・高等学校の教員免許を取得するための教職必修科目であり科目、校種をこえて、教育課程の編成及び教育方法に関わる原理的な知見の獲得をめざす。	教育課程、教育方法、学力概念を、教育目的の視点から構想することができる。	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1
S103542	丸山剛史	教育課程及び方法（特別活動を含む）	授業では、①教育課程・方法の意義、②歴史的背景、③現状、④論点について講義を行う。	教職に関する基礎的科目の一つであり、「教育原論」等の共通的・入門的内容の学習をふまえ、学校による子どもの人格形成設計に関して学習する。	・教育課程とは、学校による子どもの人格形成設計ないしは子どもの人格と学力の統一的発達のプログラムであることがわかる。 ・教育課程に関する日本独特の性質がわかる。 ・教育課程編成における教師の役割がわかる。	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標	<p>(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。</p>
---------	---

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S103548	丸山剛史	教育課程及び方法 (特別活動を含む)	授業では、①教育課程・方法の意義、②歴史的背景、③現状、④論点について講義を行う。	教職に関する基礎的科目の一つであり、「教育原論」等の共通的・入門的内容の学習をふまえ、学校による子どもの人格形成設計に関して学習する。	・教育課程とは、学校による子どもの人格形成設計ないしは子どもの人格と学力の統一的発達のプログラムであることがわかる。 ・教育課程に関する日本独特の性質がわかる。 ・教育課程編成における教師の役割がわかる。	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1
	遠藤 忠	生活指導 (進路指導を含む)	生活指導 (生徒指導) は、学習指導と並ぶ学校教育の基本機能である。児童生徒の学校適応や自律を図り、社会的な自己実現を可能とする自己指導能力の育成を目指す指導の在り方であり、人間形成の中核を担うものであり、教職を目指すものにとっての最重要科目のひとつといえる。本科目では、児童生徒のさまざまな不適応問題を取り上げつつ、生徒指導の意義、指導の在り方等について、基本的理解を与えることを目的とする。	生活指導 (生徒指導) は学校教育において学習指導とともに教育活動の2大機能の一つであり、従って、本科目は、教職課程の中で不可欠の科目である。	教員として必要とされる生活指導 (進路指導を含む) に関する以下の基本的知識の習得。 ○生活指導 (生徒指導) の目的・構造について。 ○教科等の学校教育の諸領域における生活指導の機能。 ○日本型生活指導 (生徒指導) の意義と効果。 ○児童生徒の健やかな成長・発達を保証するための指導の在り方。	0.3	0.3	0.2	0.0	0.2
S103707	葉山大地	生徒指導・進路指導	生徒指導上及び進路指導上の諸問題について、その背景にある理論や指導方法も踏まえながら具体例に即して講義する。	小学校・中学校・高等学校教員免許に必須の教職科目。各学校段階における生徒指導・進路指導の理論及び方法について学ぶ。各々の指導法に関する基礎的知識と技能を修得する。	・生徒指導及び進路指導の基本的な知識と指導方法を具体例に即して修得する。 ・現代の児童・生徒や学校が抱える生徒指導・進路指導上の諸問題について問題点を明確にし、それを考察できる能力と態度を修得する。	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
S103804	澤田匡人	生徒指導・進路指導	生徒指導に関する基礎的な知識を含む進路指導の理論と方法について具体例に即して講義する。	小学校・中学校・高等学校教員免許に必須の教職科目。各学校段階における進路指導・生徒指導の理論及び方法について学ぶ。各々の指導法に関する基礎的知識と技能を修得する。	・生徒指導及び進路指導の基本的な知識と指導方法を具体例に即して修得する。 ・現代の児童・生徒や学校が抱える進路指導上の諸問題について問題点を明確にし、それを考察できる能力と態度を修得する。	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
S107303	澤田匡人	生徒指導・進路指導	生徒指導上及び進路指導上の諸問題について、その背景にある理論や指導方法も踏まえながら具体例に即して講義する。	小学校・中学校・高等学校教員免許に必須の教職科目。各学校段階における生徒指導・進路指導の理論及び方法について学ぶ。各々の指導法に関する基礎的知識と技能を修得する。	・生徒指導及び進路指導の基本的な知識と指導方法を具体例に即して修得する。 ・現代の児童・生徒や学校が抱える生徒指導・進路指導上の諸問題について問題点を明確にし、それを考察できる能力と態度を修得する。	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
S103901	川原誠司	教育相談	教育相談に携わる教師が必要な観点について講義する。また、授業の中で出来るだけ討論や実習を加えて、講義内容を実感できたり、受講生同士の人間関係を促進するように留意する。	本授業は、学校教育教員養成課程の課程共通科目であり、課程における専門性を高めるという目標に対応している。	「相談」というものを実感し、それにまつわる知識ならびに態度、スキルを積極的に学んでいく姿勢を身につける。それを自分が接する対象に少しでも活かせる応用力を磨く。	0.2	0.2	0.1	0.3	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S103910	白石智子	教育相談	教育相談の領域、対象、方法に関する講義を行い、基礎的な知識をどのように活用するかという実践的な課題について扱う。	本授業は、学校教育教員養成課程の課程共通科目であり、課程における専門性を高めるという目標に対応している。	・教育相談の位置づけおよび理論と実践について最低限の知識と態度を身につけること。 ・受講生各々が「教育相談の視点」をもち教育現場に活かすこと。	0.2	0.3	0.2	0.1	0.2
S104002	葉山大地	教育相談	教育相談の対象となる諸問題について、その背景にある理論や指導方法も踏まえながら具体例に即して講義する。	小学校・中学校・高等学校教員免許に必須の教職科目。各学校段階における教育相談の方法と内容について学ぶ。また、カウンセリングに関する基礎的な知識と理論及び方法を修得する。	・カウンセリングの基本的な知識も含む教育相談の基本的な知識と指導方法を具体例に即して修得する。 ・現代の児童・生徒や学校が抱える諸問題についてその実体や問題点を明確にし、それを考察できる能力と態度を修得する。	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1

小学校教科

	鈴木啓子	国語	近現代の文学作品(詩・小説・童話)をとりあげ、その解釈・観賞を通して、「国語」の文学的教材を面白く読むための基本的なスタンスと具体的な方法(コツ)を、文学研究の立場から講義する。なお、これとは別に書写について学習する時間を設ける。	小学校教員免許を取得するための必修科目として、「国語」という教科の特色・意義・魅力を文学研究の観点から考察し、文学的教材を扱う際に重要な基本的知識と態度を伝授する。	・国語という教科の魅力と意義について深く理解する。 ・文学的教材(詩・小説・童話等)の読み方・味わい方の基本姿勢と基礎的方法を具体例に即して修得する。 ・小学校の教員として必要な書写に関する知識と技能を修得する。	0.5	0.2	0.1	0.2	0.0
	守安敏久	国語	夏目漱石の論説を読み、作家に関する知識を深めるとともに、考察力を養成する。夏目漱石の関西での講演を主たる教材とし、その近代日本への懐疑の言葉を通して、漱石の思想を読み解く。なお、これとは別に書写について学習する時間を設ける。	「小学校」の教員免許を取得する場合の免許法指定科目「国語(書写を含む)」に対応する授業科目として開設されている。文学作品の読解を通して、「国語」という教科の特色・意義を理解し、教員にふさわしい論理的思考を修得する。	・国語に関する知識・技能・考察力を修得することを目的とする。書写について学習し、知識・考察力を修得する。 ・国語について、小学校教員として必要な知識と思考を身につけることを目指す。	0.5	0.2	0.1	0.2	0.0
	田和真紀子	国語	現代日本語の文法・語彙・文字・表記の特徴の基礎的な事項について講義し、さらに歴史的变化(日本語史)と地理的変異(方言)についても紹介する。なお、これとは別に書写について学習する時間を設ける。	小学校教員免許を取得するための免許法指定科目「国語(書写を含む)」に対応する授業科目として開設する。言語としての日本語の特徴を知ることによって、国語に関するより深い知識と洞察力が身に付く。	・小学校で国語を指導する際に必要となる、日本語に関する基礎知識を習得する。 ・ことばのきまりを理解し、考察する力を身につける。 ・書写について学習し、知識・考察力を修得する	0.5	0.2	0.1	0.2	0.0
	牧野智彦、北川義久	算数	本授業では、教科の中で我々が慣れ親しんでいる「数」や「図形」について、その性質を数学の立場から考察し、数や図形のもつ面白さや奥深さについて講義する。また、それら数学的背景を踏まえ、具体例をもとに教科内容の必要性・重要性を探る。	小学校教員免許取得に必須の科目である。本授業では、教科内容の数学的背景を探り、それらの学校数学における重要性について、専門的理解を深める。	・算数科の内容である「数」と「図形」に関して、数学的背景が分かる・教科内容としての重要性の理解を深める	0.7	0.3	0.0	0.0	0.0

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
	日野圭子 藤平秀行	算数	本授業では、教科の中で我々が慣れ親しんでいる「数」や「図形」について、その性質を数学の立場から考察し、数や図形のもつ面白さや奥深さについて講義する。また、それら数学的背景を踏まえ、具体例をもとに教科内容の必要性・重要性を探る。	小学校教員免許取得に必須の科目である。本授業では、教科内容の数学的背景を探り、それらの学校数学における重要性について、専門的理解を深める。	・算数科の内容である「数」と「図形」に関して、数学的背景が分かる ・教科内容としての重要性の理解を深める	0.7	0.3	0.0	0.0	0.0
	未定 (複数教員)	社会	小学校教科「社会科」の基礎となる学問諸分野(社会学・地理学・歴史学・倫理学・国際理解分野等)における問題をそれぞれとりあげ、初等教育および中等教育の「社会科」を教えるための基礎教養を提供する。複数名の教員が交替で講義する。	学校教育教員養成課程における学部専門教育科目の必修科目である。小学校教科「社会科」の基礎教養を提供する授業である。	・「社会科」の授業で扱う内容について、関連する学問諸分野の見方、考え方を学ぶ。 ・「社会科」の実際の授業展開に必要な教養を身につける。	0.3	0.2	0.2	0.0	0.3
S101300	山田 ・(未定) ・上田 ・中村	理科	小・中学校の教科書を大学生の目で見直すと、小・中学校当時には見ることができなかった側面が見えてくる。すなわち小・中学生に比較して幅広い体験を有する大学生には、小・中学校生徒とは異なった切り口から小・中学校の教科書記載の内容の考察が可能となる。本講義では小・中学校教科書記載の課題の中で、特に論理的思考力を要する課題を取り上げる。	小学校教科内容の基本的理解	理科教育の目的のひとつは自然現象を理解し、論理的な思考力を培うことであり、本講義でもそれらを目標及びねらいとする。	0.3	0.2	0.3	0.1	0.1
S101305	松居 ・堀田 ・井口 ・南	理科	小・中学校の教科書を大学生の目で見直すと、小・中学校当時には見ることができなかった側面が見えてくる。すなわち小・中学生に比較して幅広い体験を有する大学生には、小・中学校生徒とは異なった切り口から小・中学校の教科書記載の内容の考察が可能となる。本講義では小・中学校教科書記載の課題の中で、特に論理的思考力を要する課題を取り上げる。	小学校教科内容の基本的理解	理科教育の目的のひとつは自然現象を理解し、論理的な思考力を培うことであり、本講義でもそれらを目標及びねらいとする。	0.3	0.2	0.3	0.1	0.1
S101410	加藤謙一 (代表)	生活	生活科教育の基盤となる社会・自然・表現などの学習的背景を捉えるとともに、生活科の活動を構成する観察・製作・表現などにおけるさまざまな「気づき」や求められる技法等を実践を通して身に付ける。また、生活科における学習概念ならびに評価の在り方をとらえ、本学教育学部附属小学校における生活科授業参観を行うなどして、学習指導案作成の手順など教育現場に直結した講義を通して生活科への理解を深める。	小学校教員免許取得のため必要性が高い。生活科教育法との関連をもたせるとともに、小学校教科専門として位置づけられている	授業の内容で示したような生活科への理解を深めることができること。また、各教員の授業において、それぞれ到達目標が示される。	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
	清水裕子、 陣内雄次、 大森玲子	家庭	食生活、衣生活、住生活の分野から家庭生活に関して講義する。食生活領域では、栄養と体・健康のかかわりについて論じる。衣生活領域については、着ることの意味を考えながら、衣生活について概説する。住生活領域については、小学校家庭科における住生活の学習、ならびに「総合的な学習の時間」と関連させつつ、講義(ワークショップを含む)を展開する。	小学校教員免許取得に必須の科目である。本授業では、家庭生活について、家政学としての専門性に基づいた上で、実践的な理解を深める。	食生活、衣生活、住生活の分野から、家庭科教員として必要な家庭生活について理解を深める。	0.3	0.2	0.1	0.1	0.3
	清水裕子、 陣内雄次、 大森玲子	家庭	食生活、衣生活、住生活の分野から家庭生活に関して講義する。食生活領域では、栄養と体・健康のかかわりについて論じる。衣生活領域については、着ることの意味を考えながら、衣生活について概説する。住生活領域については、小学校家庭科における住生活の学習、ならびに「総合的な学習の時間」と関連させつつ、講義(ワークショップを含む)を展開する。	小学校教員免許取得に必須の科目である。本授業では、家庭生活について、家政学としての専門性に基づいた上で、実践的な理解を深める。	食生活、衣生活、住生活の分野から、家庭科教員として必要な家庭生活について理解を深める。	0.3	0.2	0.1	0.1	0.3
	新井 恵美	音楽A	小学校の教員が音楽科の授業を行う際に必要な楽典(楽譜の読み方等)、楽器(リコーダー、打楽器など)の奏法、歌唱について扱う。	小学校教諭免許取得に必須の科目。小学校教員になるために必要な音楽実技を修得する。	実技等の実践を通して、小学校音楽科の授業を行うのに最低限必要な知識、技能を修得する。	0.5	0.1	0.1	0.1	0.2
	新井 恵美	音楽A	小学校の教員が音楽科の授業を行う際に必要な楽典(楽譜の読み方等)、楽器(リコーダー、打楽器など)の奏法、歌唱について扱う。	小学校教諭免許取得に必須の科目。小学校教員になるために必要な音楽実技を修得する。	実技等の実践を通して、小学校音楽科の授業を行うのに最低限必要な知識、技能を修得する。	0.5	0.1	0.1	0.1	0.2
	高島 章悟	音楽A	小学校の教員が音楽科の授業を行う際に必要な楽典(楽譜の読み方等)、楽器(リコーダー、打楽器など)の奏法、歌唱について扱う。	小学校教諭免許取得に必須の科目。小学校教員になるために必要な音楽実技を修得する。	実技等の実践を通して、小学校音楽科の授業を行うのに最低限必要な知識、技能を修得する。	0.5	0.1	0.1	0.1	0.2
	高島 章悟	音楽A	小学校の教員が音楽科の授業を行う際に必要な楽典(楽譜の読み方等)、楽器(リコーダー、打楽器など)の奏法、歌唱について扱う。	小学校教諭免許取得に必須の科目。小学校教員になるために必要な音楽実技を修得する。	実技等の実践を通して、小学校音楽科の授業を行うのに最低限必要な知識、技能を修得する。	0.5	0.1	0.1	0.1	0.2
	石田 修一	音楽B	小学校の教員が音楽科の授業を行う際に必要な歌唱、ピアノ伴奏の指導と楽典の指導を行う。	小学校教員養成課程の音楽における歌唱指導に必要な音楽の実技と楽典の知識を修得する。	実技の実践等を通して、小学校音楽科の授業を行うのに最低限必要な知識、技能の修得をめざす。 歌唱教材の実践(歌唱、伴奏)	0.6	0.1	0.2	0.1	0.0

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
	石田 修一	音楽B	小学校の教員が音楽科の授業を行う際に必要な歌唱、ピアノ伴奏の指導と楽典の指導を行う。	小学校教員養成課程の音楽における歌唱指導に必要な音楽の実技と楽典の知識を修得する。	実技の実践等を通して、小学校音楽科の授業を行うのに最低限必要な知識、技能の修得をめざす。 歌唱教材の実践(歌唱、伴奏)	0.6	0.1	0.2	0.1	0.0
S101763	山口喜雄	図画工作A	小学校図画工作の実技指導に関する基礎編で、理念・理論実践の全体像の形成ができるように学習内容を配列している。例えば、年間の学習方針、やる気の引き出し方、安全指導なども実技学習に対応させている。児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容だけでなく、それらの授業実践を支える理念の学習も行い、児童の多様な状況に対応した指導力を身につけられるよう工夫している。	「課程選択」ではあるが、造形表現をとおして児童の心理理解に不可欠な選択科目である。特に我が国の美術文化あるいは自他の造形表現と鑑賞の理解を重視しているため、受講生が小学生期に造形表現が不得意であった場合は、本授業の受講を通して不得意という意識からの脱却が求められる。	児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容の学習を通して、小学校図画工作の実技指導に関する基礎な理念・理論実践の全体像の形成を目的としている。	0.1	0.3	0.3	0.1	0.2
S101771	山口喜雄	図画工作A	小学校図画工作の実技指導に関する基礎編で、理念・理論実践の全体像の形成ができるように学習内容を配列している。例えば、年間の学習方針、やる気の引き出し方、安全指導なども実技学習に対応させている。児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容だけでなく、それらの授業実践を支える理念の学習も行い、児童の多様な状況に対応した指導力を身につけられるよう工夫している。	「課程選択」ではあるが、造形表現をとおして児童の心理理解に不可欠な選択科目である。特に我が国の美術文化あるいは自他の造形表現と鑑賞の理解を重視しているため、受講生が小学生期に造形表現が不得意であった場合は、本授業の受講を通して不得意という意識からの脱却が求められる。	児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容の学習を通して、小学校図画工作の実技指導に関する基礎な理念・理論実践の全体像の形成を目的としている。	0.1	0.3	0.3	0.1	0.2
S101785	山口喜雄	図画工作A	小学校図画工作の実技指導に関する基礎編で、理念・理論実践の全体像の形成ができるように学習内容を配列している。例えば、年間の学習方針、やる気の引き出し方、安全指導なども実技学習に対応させている。児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容だけでなく、それらの授業実践を支える理念の学習も行い、児童の多様な状況に対応した指導力を身につけられるよう工夫している。	「課程選択」ではあるが、造形表現をとおして児童の心理理解に不可欠な選択科目である。特に我が国の美術文化あるいは自他の造形表現と鑑賞の理解を重視しているため、受講生が小学生期に造形表現が不得意であった場合は、本授業の受講を通して不得意という意識からの脱却が求められる。	児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容の学習を通して、小学校図画工作の実技指導に関する基礎な理念・理論実践の全体像の形成を目的としている。	0.1	0.3	0.3	0.1	0.2
S101759	本田悟郎	図画工作A	図画工作科の内容「表現(絵や立体)」「表現(造形遊び)」「鑑賞」各領域について、実技制作を軸に適宜講義を取り入れて、その教育方法や今日的課題、また、授業実践の視点と図画工作の理念を解説する。	小学校図画工作科学習指導の素養を身につけ、実践のための能力を育成する。	小学校図画工作科の内容について理解を深め、創造的且つ個性や主体性に根ざした図画工作の学習を担う能力を身につけることを目標とする。	0.1	0.3	0.3	0.1	0.2
S101752	本田悟郎	図画工作A	図画工作科の内容「表現(絵や立体)」「表現(造形遊び)」「鑑賞」各領域について、実技制作を軸に適宜講義を取り入れて、その教育方法や今日的課題、また、授業実践の視点と図画工作の理念を解説する。	小学校図画工作科学習指導の素養を身につけ、実践のための能力を育成する。	小学校図画工作科の内容について理解を深め、創造的且つ個性や主体性に根ざした図画工作の学習を担う能力を身につけることを目標とする。	0.1	0.3	0.3	0.1	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S101766	山口喜雄	図画工作B	小学校図画工作の実技指導に関する発展編で、変化する多様な状況に対応可能な授業の構想力・実践力の形成ができるように学習内容を配列している。例えば、長期休業後の題材、生涯造形活動を楽しむ人間の育成、空間認識の発達なども実技学習に対応させている。児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容だけでなく、それらの授業実践を支える理念の学習も行い、児童の多様な状況に対応した指導力を身につけられるよう工夫している。	「課程選択」ではあるが、造形表現をとおして児童の心理理解に不可欠な選択科目である。特に我が国の美術文化あるいは自他の造形表現と鑑賞の理解を重視しているため、受講生が小学生期に造形表現が不得意であった場合は、本授業の受講を通して不得意という意識からの脱却が求められる。	児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容の学習を通して、小学校図画工作の発展的な実技指導、変化する多様な状況に対応可能な授業の構想力・実践力の形成を目的としている。	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2
S101775	山口喜雄	図画工作B	小学校図画工作の実技指導に関する基礎編で、理念・理論実践の全体像の形成ができるように学習内容を配列している。例えば、年間の学習方針、やる気の引き出し方、安全指導なども実技学習に対応させている。児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容だけでなく、それらの授業実践を支える理念の学習も行い、児童の多様な状況に対応した指導力を身につけられるよう工夫している。	「課程選択」ではあるが、造形表現をとおして児童の心理理解に不可欠な選択科目である。特に我が国の美術文化あるいは自他の造形表現と鑑賞の理解を重視しているため、受講生が小学生期に造形表現が不得意であった場合は、本授業の受講を通して不得意という意識からの脱却が求められる。	児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容の学習を通して、小学校図画工作の実技指導に関する基礎な理念・理論実践の全体像の形成を目的としています。	0.1	0.3	0.3	0.1	0.2
S101789	山口喜雄	図画工作B	小学校図画工作の実技指導に関する発展編で、変化する多様な状況に対応可能な授業の構想力・実践力の形成ができるように学習内容を配列している。例えば、長期休業後の題材、生涯造形活動を楽しむ人間の育成、空間認識の発達なども実技学習に対応させている。児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容だけでなく、それらの授業実践を支える理念の学習も行い、児童の多様な状況に対応した指導力を身につけられるよう工夫している。	「課程選択」ではあるが、造形表現をとおして児童の心理理解に不可欠な選択科目である。特に我が国の美術文化あるいは自他の造形表現と鑑賞の理解を重視しているため、受講生が小学生期に造形表現が不得意であった場合は、本授業の受講を通して不得意という意識からの脱却が求められる。	児童が取り組む表現や鑑賞の具体的内容の学習を通して、小学校図画工作の発展的な実技指導、変化する多様な状況に対応可能な授業の構想力・実践力の形成を目的とする。	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2
S101797	本田悟郎	図画工作B	図画工作科の題材について理解を深めるため、学習指導要領、教科書、また、発達段階や、造形要素など、題材作成に不可欠な視点を演習と講義およびグループ学習から取り上げる。	小学校図画工作科で学習指導を実践するための諸能力向上を図る。	小学校における図画工作科の役割と教科性について理解を深め、個性や主体性、創造性を育む指導実践の能力を高めることを目標とする。	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2
S101805	加藤謙一	体育A	小学校体育で実施される陸上運動、器械運動、体づくり運動、ボール運動、表現運動および水泳の基本的な技能とその指導法を学ぶ。	本授業は、学校教育教員養成課程専門教育科目の必修科目であり、小学校における体育指導の専門的知識と技能を学び、実践的指導力を体得することを目標とする。	本授業の目標は、小学校体育で実施される陸上運動、器械運動、体づくり運動、ボール運動、表現運動および水泳の基本的な技能とその指導法を習得し、それらの指導能力を身につけることである。	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ・ ・ ・, 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S101824	茅野 理子	体育B	体育Aを基礎とした上で、さらに陸上運動、器械運動、体づくり運動、ボール運動、表現リズム遊び・表現運動における発展的な技能とその指導法を学ぶ。また、小学校で扱われる保健の内容についても学ぶ。	本授業は、学校教育教員養成課程専門教育科目の選択科目であり、小学校における体育指導の専門的知識と技能を学び、実践的指導力を体得することを目標とする。	本授業では、体育Aを基礎におき、さらに陸上運動、器械運動、ボール運動、表現リズム遊び・表現運動およびそれぞれに関わる体づくり運動の発展的な技能とその指導法を習得し、それらの実践的指導力を身につけることを到達目標とする。また、小学校で扱う保健の学習内容を理解することができる。	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

小学校教科教育法

S102021	森田香緒里	初等国語科教育法	小学校教科「国語」についての、教材研究法及び指導法について講義する。文学教材や説明的文章教材等、教科書教材を使って教材分析を行い、教育内容の抽出を行う。また、発問や学習活動の設定等の指導法についても、具体的教材をもとに講義する。	小学校教員免許取得に必須の科目。小学校段階の言語発達に応じた教育内容及び教育方法について学ぶ。同時履修となる教科科目「国語」で教科内容の専門的理解を行うのに対し、ここでは教職としての観点から、教材分析及び指導法の基礎的技能を修得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校国語における教材分析法の基礎的な知識・技能を修得する。 ・発問の仕方や指導案及び授業展開の仕組み等の、指導法の基礎について理解する。 ・児童の言語発達についての理解を深める。 	0.4	0.1	0.4	0.1	0.0
S102026	森田香緒里	初等国語科教育法	小学校教科「国語」についての、教材研究法及び指導法について講義する。文学教材や説明的文章教材等、教科書教材を使って教材分析を行い、教育内容の抽出を行う。また、発問や学習活動の設定等の指導法についても、具体的教材をもとに講義する。	小学校教員免許取得に必須の科目。小学校段階の言語発達に応じた教育内容及び教育方法について学ぶ。同時履修となる教科科目「国語」で教科内容の専門的理解を行うのに対し、ここでは教職としての観点から、教材分析及び指導法の基礎的技能を修得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校国語における教材分析法の基礎的な知識・技能を修得する。 ・発問の仕方や指導案及び授業展開の仕組み等の、指導法の基礎について理解する。 ・児童の言語発達についての理解を深める。 	0.4	0.1	0.4	0.1	0.0
S101832	香西秀信	初等国語科教育法	小学校の「国語」について、文学教材、説明的文章教材、作文教材等の教材研究方法および指導法について講義する。多人数の授業ではあるが、講義形式ではなく、問答形式によって授業を行う。つまり、具体的な教材について、講師が問いを出し、それに受講生が答えたものを講師が論評し、さらに発展的な問答を繰り返すことによって授業を進める。	小学校教員免許取得のための必須科目。小学校教科専門科目「国語」との同時履修を原則とし、国語を教えるための知識・技術(教材研究法・指導法)を修得する。中学校一種免許(国語)を取得する学生にとっては、「中等国語科教育法」受講のための基礎科目としての役割ももっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校国語教材(文学教材・説明的文章教材・作文教材)の教材研究法について、基本的な知識・技術を修得する。 ・小学校教科「国語」を教えるための、基本的な指導法を修得する。 ・上記教材研究法・指導法について、その理論的基盤の基礎を理解する。 	0.3	0.2	0.3	0.1	0.1
S102107	日野圭子	算数科教育法	小学校算数科の学習指導に関わる基本的な知識の習得をねらい、算数科の目標、内容、指導方法、評価について、具体的な教材を例に挙げながら講義する。	小学校教員免許取得に必須の科目である。教科科目「算数」で教科内容の専門的理解を深めるのに対して、ここでは、教職の観点から、児童の発達に即した算数の学習指導の基本的事項を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・算数科の目標、内容、指導方法、評価についての基礎的な知識・技能を修得する ・指導案や授業展開の仕組みなど、指導法の基礎について理解する ・児童の算数の学習指導上の実態についての理解を深める 	0.3	0.3	0.4	0.0	0.0

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S102115	日野圭子	算数科教育法	小学校算数科の学習指導に関わる基本的な知識の習得をねらい、算数科の目標、内容、指導方法、評価について、具体的な教材を例に挙げながら講義する。	小学校教員免許取得に必須の科目である。教科科目「算数」で教科内容の専門的理解を深めるのに対して、ここでは、教職の観点から、児童の発達に即した算数の学習指導の基本的事項を学ぶ。	・算数科の目標、内容、指導方法、評価についての基礎的な知識・技能を修得する ・指導案や授業展開の仕組みなど、指導法の基礎について理解する ・児童の算数の学習指導上の実態についての理解を深める	0.3	0.3	0.4	0.0	0.0
S102123	牧野智彦	算数科教育法	小学校算数科の学習指導に関わる基本的な知識の習得をねらい、算数科の目標、内容、指導方法、評価について、具体的な教材を例に挙げながら講義する。	小学校教員免許取得に必須の科目である。教科科目「算数」で教科内容の専門的理解を深めるのに対して、ここでは、教職の観点から、児童の発達に即した算数の学習指導の基本的事項を学ぶ。	・算数科の目標、内容、指導方法、評価についての基礎的な知識・技能を修得する。 ・指導案や授業展開の仕組みなど、指導法の基礎について理解する。 ・児童の算数の学習指導上の実態についての理解を深める。	0.3	0.3	0.4	0.0	0.0
S102131	牧野智彦	算数科教育法	小学校算数科の学習指導に関わる基本的な知識の習得をねらい、算数科の目標、内容、指導方法、評価について、具体的な教材を例に挙げながら講義する。	小学校教員免許取得に必須の科目である。教科科目「算数」で教科内容の専門的理解を深めるのに対して、ここでは、教職の観点から、児童の発達に即した算数の学習指導の基本的事項を学ぶ。	・算数科の目標、内容、指導方法、評価についての基礎的な知識・技能を修得する。 ・指導案や授業展開の仕組みなど、指導法の基礎について理解する。 ・児童の算数の学習指導上の実態についての理解を深める。	0.3	0.3	0.4	0.0	0.0
S201504	溜池善裕	初等社会科教育法	小学校教科「社会」に関する教育目的・内容・方法について講義する。具体的には、小学校社会科に関する諸問題を取り上げるとともに、発問や授業構成の方法についても実際の授業場面をもとに講義する。	小学校教員免許取得のための必修科目である。教科科目「社会」で教科内容の専門的理解を行うのに対し、本授業は教職科目として小学校社会科の指導法についての基礎的知識・技能を修得する。	初等社会科の授業のもつ意義と枠割について説明することが出来る。	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
S102220	熊田禎介	初等社会科教育法	小学校教科「社会」に関する教育目的・内容・方法について講義する。具体的には、小学校社会科の現在・歴史や諸問題を取り上げるとともに、発問や授業構成の方法についても実際の授業場面をもとに講義する。	小学校教員免許取得のための必修科目である。教科科目「社会」で教科内容の専門的理解を行うのに対し、本授業は教職科目として小学校社会科の指導法についての基礎的知識・技能を修得する。	・小学校社会科の現在・歴史や諸問題について、具体的な教材や実践例をもとに理解する。 ・発問の仕方や授業構成の方法についての基礎的知識・技能を修得する。	0.3	0.2	0.3	0.1	0.1
S102317	人見久城・伊東明彦・出口明子	初等理科教育法	小学校理科に関わる目的・内容・方法等について、学習指導要領の解説、教材、授業づくりなどに関する講義を行い、精選された題目についての観察・実験を行う。	この科目は、学部専門教育科目の小学校教科教育法に関する必修科目である。小学校理科の学習内容と指導方法についての基礎的な理解を深めることを目標とする。	・小学校理科の学習内容について理解を深める。 ・小学校理科の指導方法について理解を深める。	0.3	0.2	0.3	0.1	0.1
S102317	人見久城・伊東明彦・出口明子	初等理科教育法	小学校理科に関わる目的・内容・方法等について、学習指導要領の解説、教材、授業づくりなどに関する講義を行い、精選された題目についての観察・実験を行う。	この科目は、学部専門教育科目の小学校教科教育法に関する必修科目である。小学校理科の学習内容と指導方法についての基礎的な理解を深めることを目標とする。	・小学校理科の学習内容について理解を深める。 ・小学校理科の指導方法について理解を深める。	0.3	0.2	0.3	0.1	0.1
S102317	人見久城・伊東明彦・出口明子	初等理科教育法	小学校理科に関わる目的・内容・方法等について、学習指導要領の解説、教材、授業づくりなどに関する講義を行い、精選された題目についての観察・実験を行う。	この科目は、学部専門教育科目の小学校教科教育法に関する必修科目である。小学校理科の学習内容と指導方法についての基礎的な理解を深めることを目標とする。	・小学校理科の学習内容について理解を深める。 ・小学校理科の指導方法について理解を深める。	0.3	0.2	0.3	0.1	0.1

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S102317	人見久城・伊東明彦・出口明子	初等理科教育法	小学校理科に関わる目的・内容・方法等について、学習指導要領の解説、教材、授業づくりなどに関する講義を行い、精選された題目についての観察・実験を行う。	この科目は、学部専門教育科目の小学校教科教育法に関する必修科目である。小学校理科の学習内容と指導方法についての基礎的な理解を深めることを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校理科の学習内容について理解を深める。 ・小学校理科の指導方法について理解を深める。 	0.3	0.2	0.3	0.1	0.1
S102317	人見久城・伊東明彦・出口明子	初等理科教育法	小学校理科に関わる目的・内容・方法等について、学習指導要領の解説、教材、授業づくりなどに関する講義を行い、精選された題目についての観察・実験を行う。	この科目は、学部専門教育科目の小学校教科教育法に関する必修科目である。小学校理科の学習内容と指導方法についての基礎的な理解を深めることを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校理科の学習内容について理解を深める。 ・小学校理科の指導方法について理解を深める。 	0.3	0.2	0.3	0.1	0.1
S102317	人見久城・伊東明彦・出口明子	初等理科教育法	小学校理科に関わる目的・内容・方法等について、学習指導要領の解説、教材、授業づくりなどに関する講義を行い、精選された題目についての観察・実験を行う。	この科目は、学部専門教育科目の小学校教科教育法に関する必修科目である。小学校理科の学習内容と指導方法についての基礎的な理解を深めることを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校理科の学習内容について理解を深める。 ・小学校理科の指導方法について理解を深める。 	0.3	0.2	0.3	0.1	0.1
S102417	橘川 眞彦 青柳 宏 溜池 善裕 出口 明子 清水 裕子	生活科教育法	生活科の設置の背景、教科の特質、低学年児童の心理的特質、社会認識・自然認識の発達の特質などを明らかにし、生活科の指導計画の作成、教材づくり・環境構成や指導と評価の基本的な在り方について講義する。	人間発達領域の専門科目である。低学年の発達段階に応じた教育内容及び教育方法委について学ぶ。年間計画の作成、教材分析、単元計画等教職としての基礎的技能を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年児童の自己認識、社会認識、自然認識の様式を理解できるようになる。 ・生活科の指導計画の作成、教材づくり・環境構成・指導と評価について基礎技能を習得する。 	0.2	0.1	0.3	0.2	0.2
S102425	橘川 眞彦 青柳 宏 熊田 禎介 出口 明子 未定(新任者)	生活科教育法	生活科の設置の背景、教科の特質、低学年児童の心理的特質、社会認識・自然認識の発達の特質などを明らかにし、生活科の指導計画の作成、教材づくり・環境構成や指導と評価の基本的な在り方について講義する。	人間発達領域の専門科目である。低学年の発達段階に応じた教育内容及び教育方法委について学ぶ。年間計画の作成、教材分析、単元計画等教職としての基礎的技能を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年児童の自己認識、社会認識、自然認識の様式を理解できるようになる。 ・生活科の指導計画の作成、教材づくり・環境構成・指導と評価について基礎技能を習得する。 	0.2	0.1	0.3	0.2	0.2
S102527	赤塚 朋子・清水裕子	初等家庭科教育法	小学校の家庭科教育の位置づけの変遷を歴史的に概観し、教科観について検討するとともに実地指導講師等による授業実践例をもとに授業案をつくり、小学校家庭科の基本的な知識を学びます。		初等教育における家庭科教育の位置づけ、教育目標、教育内容、領域、学習形態等、家庭科の教科としての特徴を理解し、授業例を手がかりに指導案の作成を行い、家庭科の授業をつくる力をつけることを目標とします。	0.2	0.2	0.1	0.1	0.4
S102531	赤塚 朋子・清水裕子	初等家庭科教育法	小学校の家庭科教育の位置づけの変遷を歴史的に概観し、教科観について検討するとともに実地指導講師等による授業実践例をもとに授業案をつくり、小学校家庭科の基本的な知識を学びます。		初等教育における家庭科教育の位置づけ、教育目標、教育内容、領域、学習形態等、家庭科の教科としての特徴を理解し、授業例を手がかりに指導案の作成を行い、家庭科の授業をつくる力をつけることを目標とします。	0.2	0.2	0.1	0.1	0.4

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S102603	小原 伸一	初等音楽科教育法	小学校音楽科の教科目標や内容、学習指導計画等について、学習指導要領の教科「音楽」の内容を基にして、適宜実技を交えながら解説を中心に講義を行う。また、実地指導講師による音楽指導の実践例を通して、小学校における具体的な教材やその指導方法について学び、実技を含む教科の特徴をふまえ教科理解を深める。	小学校免許取得のための専門教育科目。学部専門教育科目の教育基礎科目群・小学校教科教育法の中の開設科目。小学校の教科「音楽」について基本的な教科理解をするとともに、各自が習得している音楽の基礎知識・技能を小学校音楽科の授業実践に向け効果的に応用実践するための方法論の基礎を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校音楽科の目標や学習指導内容、学習指導計画など基本的な事柄について理解する。 ・教科についての基礎的な理解をふまえ、音楽実技を適切に用いた学習指導計画(学習指導案)を構成することができる。 ・音楽指導への熱意を持ち自己の音楽経験を生かし、学習指導を工夫して実践しようとする積極的な発想を持つ。 	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1
S102611	新井 恵美	初等音楽科教育法	小学校における音楽科について、目標、内容、領域、歴史などを扱うとともに、指導に必要な知識・技能を修得するための演習や演奏等も行う。	小学校教諭免許取得に必須の科目。小学校の発達段階に応じた教育内容・方法を修得する。	小学校における音楽科について、目標、内容、領域、歴史などを理解するとともに、指導に必要な知識・技能を修得する。	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1
S102719	本田悟郎	図画工作科教育法	小学校図画工作科に関する基礎的事項について取り上げる。学習指導要領や図画工作の現況および今日の諸課題、また、理論と歴史などから抽出される学的諸問題から図画工作の教科性を解説・講義する。	図画工作科の今日的課題と役割について問題意識を高め、小学校教員としての基礎的能力を育むことに対応している。	学校教育における図画工作科の位置づけと成り立ちを理解するとともに、地域社会における美術教育全般の諸問題や美術そのものへの知見も広げ、小学校教員としての総合的な教育観を持てることを目標とする。	0.2	0.3	0.2	0.1	0.2
S102808	本田悟郎	図画工作科教育法	小学校図画工作科に関する基礎的事項について取り上げる。学習指導要領や図画工作の現況および今日の諸課題、また、理論と歴史などから抽出される学的諸問題から図画工作の教科性を解説・講義する。	図画工作科の今日的課題と役割について問題意識を高め、小学校教員としての基礎的能力を育むことに対応している。	学校教育における図画工作科の位置づけと成り立ちを理解するとともに、地域社会における美術教育全般の諸問題や美術そのものへの知見も広げ、小学校教員としての総合的な教育観を持てることを目標とする。	0.2	0.3	0.2	0.1	0.2
S102832	加藤謙一	初等体育科教育法	発育発達をふまえながら小学校体育の学習・指導のあり方を概説し、その実践例に触れ、指導法を理解する。	学校教育教員養成課程共通科目における小学校教科教育法の選択専門教育科目として、小学校の教員に求められる体育科指導における知識や技能を身に付ける科目としての意義を持つ。	<ul style="list-style-type: none"> ・体育に必要な基礎的知識を理解することができる。 ・体育における基礎的な指導方法を理解することができる。 ・体育の指導計画および学習指導案を作成することができる。 	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S102808	茅野 理子	初等体育科教育法	体育科の目標と内容、児童の発達特性と学習課題、運動の特性とその効果的な指導法や指導計画の立案などについて、実践例を紹介しながら概説する。	学校教育教員養成課程共通科目における小学校教科教育法の選択専門教育科目として、小学校の教員に求められる体育科指導における知識や技能を身に付ける科目としての意義を持つ。	・体育に必要な基礎的知識を理解することができる。 ・体育における基礎的な指導方法を理解することができる。 ・体育の指導計画および学習指導案を作成することができる。	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1
S102824	平野 智之	初等体育科教育法	小学校の体育実践に向けた基礎理論。基礎理論を踏まえた授業設計。	学校教育教員養成課程共通科目における小学校教科教育法の選択専門教育科目として、小学校の教員に求められる体育科指導における知識や技能を身に付ける科目としての意義を持つ。	・体育に必要な基礎的知識を理解することができる。 ・体育における基礎的な指導方法を理解することができる。 ・体育の指導計画および学習指導案を作成することができる。	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1
S102832	國谷 優	初等体育科教育法	発達発達をふまえながら小学校体育の学習・指導のあり方を概説し、その実践例を紹介する。	学校教育教員養成課程共通科目における小学校教科教育法の選択専門教育科目として、小学校の教員に求められる体育科指導における知識や技能を身に付ける科目としての意義を持つ。	・体育に必要な基礎的知識を理解することができる。 ・体育における基礎的な指導方法を理解することができる。 ・体育の指導計画および学習指導案を作成することができる。	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1

教育展開科目群

選択教職科目

S107964	苦米地義郎 戸田富士夫 松原真理	ものづくり教育	ものづくりを通して、その奥に隠されている原理、原則を知り、生活にどのようにして役立てられているのか、ものづくりを通して知見を広めることに主眼をおく講義とする。	小学校ものづくりに技術的素養を高めるためのPCDAを行う。	・ものづくりは人間形成に役立つ物事の順序・コミュニケーション力および人との和を理解できるようになる。 ・一人一人がものの価値を知り、製造から廃棄までのことを考えられ、製品を選択できるようになる。	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
S107508	酒見廣志	「子どもと教育」探究講座	家庭教育及び幼児教育、小学校、中学校、高等学校、地域社会の教育に関する諸制度や教育の現状、課題等について理解を深め、子供達の「生きる力」を育む教育の在り方について探求する。	小・中・高等学校の教員免許を取得するために必要な「教職」に関する選択必修科目である。	家庭教育、小学校、中学校、高等学校、地域社会における教育の課題及びそこで求められる資質・指導力とは何かを理解することができる。	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S107648	川原誠司	教育臨床学演習Ⅰ	「不登校」「学級崩壊」「いじめ」「虐待」などの学校現場や教育に関する臨床的トピックを取り上げ、それについての基本的な文献や資料を検索・整理してもらい、発表する。	本授業は、学校教育教員養成課程の「教科または教職」に含まれ、多専攻からの教育臨床的な関心に応え、力量向上を支援する。	教育臨床的な各トピックについての概要を理解し、自分が今後そのような状況におかれたとき、対象者にどのように向き合うかをじっくり見つめる。	0.1	0.3	0.1	0.3	0.2
S107656	川原誠司	教育臨床学演習Ⅱ	教育者や養育者としての心のあり方について実例を挙げながら検討し、それらの心理的要因の重要性を理解すること、受講生の自己分析を行うことといった活動を行う。	本授業は、学校教育教員養成課程の「教科または教職」に含まれ、多専攻からの教育臨床的な関心に応え、力量向上を支援する。	教育臨床的な各トピックについての概要を理解し、自分が今後そのような状況におかれたとき、対象者にどのように向き合うかをじっくり見つめる。	0.1	0.3	0.1	0.3	0.2
S107664	川原誠司	カウンセリング実習	紙上応答やロールプレイ、ボランティアなどでの活動を通して、カウンセリングに必要なやりとりに着いて綿密に検討し、内省を深める。	本授業は、学校教育教員養成課程の「教科または教職」に含まれ、多専攻からの教育臨床的な関心に応え、力量向上を支援する。	カウンセリングの基本的なスタイルを修得する。	0.3	0.2	0.1	0.3	0.1
S107800	川島芳昭 石川 賢 村松和彦 丸山剛史	総合学習の指導	小・中・高等学校で実施されている「総合的な学習の時間」について、学習指導要領や実践例を基に指導展開の設計、指導方法、さらには評価方法などに必要な基礎的・基本的な知識や指導法を習得することを目指して講義する。	小・中・高等学校の教員免許を取得するために必要な「教職」に関する選択必修科目である。教員に求められる「総合的な学習の時間」に関する知識や指導法を修得させ、課題解決の意義を知らせる。	<ul style="list-style-type: none"> 従来の総合学習の理論や実践を概観するとともにカリキュラムにおける統合や教育方法の特質が言える。 小・中・高の各学校における「総合的な学習の時間（以下 総合学習）」が設置された背景やねらい、その教育的意義が説明できる。 総合学習の実践事例等を参考に指導上必要な基本的な考え方を習得し、授業設計をすることができる。 	0.0	0.3	0.2	0.4	0.1
S108008	坂本宏夫	野外教育	野外教育は、今日の文明社会で共通体験として望まれる豊かな自然環境のもとでの児童生徒たちの体験活動の指導の基本について理論的かつ実践的に学ぶことを目的とする。小・中学校教育の場では、自然体験活動を一層長期にわたって実施する取り組みが進められ、これら学校のすべての教員にこの種の体験活動を指導する能力が求められている。	児童生徒の自然体験不足や人間関係能力の未成熟などの問題が指摘されている今日、自然の中で、いかにして児童生徒の自主的な集団活動を創り出し、指導していくかについてを実践的に学ぶ本科目は、教職課程の目的達成のために重要な現代的科目といえる。	<ul style="list-style-type: none"> 自然の中での諸活動を自ら行う知識及び技能。 子どもに応じて自然の中で積極的に活動する態度を育てるための基本的知識及び技能。 活動の中で得られる体験的知識と教科等の学習内容を適切に結びつける基本的知識。 	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S108105	藤本 一男	視聴覚教育	Googleなどで用いられているハイパーテキスト一致分析等、身近になった情報技術を実際に見せながら、視聴覚教育メディアの意義と学習支援の方法についての理解を図る。	小・中・高等学校の教員免許を取得するために必要な”教職”に関する選択必修科目である。教員に求められる「視聴覚教育」に関する知識や指導法を修得させ、視聴覚教育メディアの意義と学習支援の方法を学ぶ。	・「思考の道具」としてコンピュータを知る。 ・ハイパーテキストの実際がわかる。 ・マルチメディアムービーが作成できる。 ・デジタル化と著作権問題について知る。 ・情報技術と倫理について考察できる。	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1

教育実践科目群

教育実習

茅野 理子 南 伸昌、他	事前事後指導	主に教育実習Ⅱの事前指導として、実習の心構えと勤務、教員の服務、学校の教育課程等について学ぶ。また同実習の事後指導として、実習についての反省等をレポートとして作成し、それに基づく討論をおこなう。	学部専門教育科目教育実践科目群の教育実習で、教員免許取得のための必修科目である。	実習をおこなうために必要な教員の服務規程、学校の教育課程、指導案の作成の方法等について知る。	0.2	0.2	0.1	0.3	0.2
茅野 理子 南 伸昌、他	小学校・中学校 教育実習Ⅰ	学校現場を実地に観察することを通して、実際の授業のあり様、子どもの学校生活の実態などを知る。	学部専門教育科目教育実践科目群の教育実習で、教員免許取得のための必修科目である。	学校現場の観察・参加を通して教育実習Ⅱに向けての意欲を喚起し、これから学ぶ事柄の課題設定を行うことができる。	0.2	0.3	0.1	0.3	0.1
茅野 理子 南 伸昌、他	小学校・中学校 教育実習Ⅱ	3週間の附属学校教育実習を行うことにより、授業の実際、子どもの実態、学校現場の状況に関する理解を深める。	学部専門教育科目教育実践科目群の教育実習で、教員免許取得のための必修科目である。	教職実習をおこなうことによって、教職の本質を理解し、またどのような学習・研究が今後求められるのかを理解する。教職に対してさらなる意欲をもつ。	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
茅野 理子 南 伸昌、他	小学校・中学校 教育実習Ⅲ	二週間の一般学校（公立小学校あるいは中学校）の実習をおこなうことによって、教職の本質についての理解を深める。	学部専門教育科目教育実践科目群の教育実習で、教員免許取得のための必修科目である。	教職実習をおこなうことによって、教職の本質をさらに理解し、実践的指導力をさらに向上させる。教職に対して、さらに一層の意欲をもつ。	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育教員養成課程 共通部分)

学習・教育目標	(A) 教職・教科に関する知識を修得し、自らの専門分野について深く理解している。 (B) 教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。 (C) 発達段階に応じた教育方法と教材・教具を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。 (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。 (E) 教師としての使命感や情熱をもち、教育的愛情をもって子どもに接することができるとともに、多様な人々と共生しながら社会に貢献できる。
---------	--

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号				
						学習・教育目標の項目との関連を0.0, 0.1, 0.2, …, 0.9, 1.0の数値で表す				
						(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
	茅野 理子 南 伸昌、他	特別支援学校教育実習	附属特別支援学校における実習を通して、特別支援教育に関わる実践的指導力を身につける。	学部専門教育科目教育実践科目群の教育実習で、「特別支援学校」の免許を取得するための必修科目である。	教職実習をおこなうことによって、特別支援教職の本質を理解し、またどのような学習・研究が今後求められるのかを理解する。特別支援学校の教職に対してさらなる意欲をもつ。	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	茅野 理子 南 伸昌、他	幼稚園教育実習	幼稚園における教育実習を通して、幼稚園教育に関わる実践的指導力を身につける。	学部専門教育科目教育実践科目群の教育実習で、幼稚園教諭免許のための必修科目ではないが、幼児理解、実践的指導力を育むために履修を推奨する科目である。	教職実習をおこなうことによって、幼児教育の本質を理解し、またどのような学習・研究が今後求められるのかを理解する。幼稚園の教職に対してさらなる意欲をもつ。	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
		高等学校教育実習	原則、母校(卒業した高等学校)にて実習を行う。高等学校における実習を通して、高等学校教育に関わる実践的指導力を身につける。	総合人間形成課程の学生が高等学校教員免許を取得するための必修科目である。	教職実習をおこなうことによって、高等学校教職の本質を理解し、またどのような学習・研究が今後求められるのかを理解する。高等学校の教職に対してさらなる意欲をもつ。	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

教職実践総合科目

S103006	茅野 理子 南 伸昌、他	教職入門セミナー	教職の意義について考え、教師という仕事や学校教育の現状に関する基本的な内容を扱う。	学部専門教育科目教育実践科目群の教育実践総合科目で、教員免許取得のための必修科目である。教職に関する基礎的な知識を獲得するとともに、主体的に物事を考察する基本的な態度・意欲を養う。	・教職に対する関心を深め、教員が学校で行っている仕事について理解をする。 ・教職に対する意欲を喚起する機会とする。	0.2	0.2	0.1	0.3	0.2
	村松 和彦、他	教職実践演習	これまでに習得した理論的知識、実践的指導力を基に、主に模擬授業・研究授業等の実践を通して、子ども理解、教職への使命感・責任感、教育的愛情、対人的関係能力、教科指導にかかわる資質を向上させる。	学部専門教育科目の教職実践総合科目で、教員免許取得のための必修科目である。	模擬授業・研究授業等の実践を通して、子ども理解、教職への使命感・責任感、教育的愛情、対人的関係能力、教科指導にかかわる自らの資質能力を振り返り、最終確認する。それにより、教職に対して自信を持って臨めるようにする。	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
S100451	松本敏 ・上原秀一 ・廣瀬陸人	教育実践インターンシップ	学校等の教育関係施設において、その管理下にある指導者のもとに、放課後の学習支援、授業や部活動の補助など、さまざまな体験的活動を行い、大学で行われる「振り返り」に参加することで、自らの体験を省察する。	学部専門教育科目教育実践科目群の教育実践総合科目であり、選択科目である。	・学校等の教育関係施設における体験とその省察により、教員としての実践的指導力の一環を身につける。	0.1	0.2	0.1	0.3	0.3
	各教員	教育実践研究	附属学校あるいは一般学校等の教育機関において、大学の授業あるいは教育実習等で自覚したテーマ(教育内容、教育方法、教材研究に関わるもの等)について実践的に研究をおこなう。	学部専門教育科目教育実践科目群の教育実践総合科目であり、選択科目である。	学校現場において、自らの研究テーマを実践的に探求することを通して、理論と実践を統合する力、また省察する力を獲得する。	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2